

Enterprise Premium 電子証明書発行サービス

電子証明書インストール手順書

Ver3.3

三菱電機デジタルイノベーション株式会社

目次

1. はじめに.....	4
1.1. ご利用条件	4
1.2. 注意事項・制限事項.....	4
2. 実施手順.....	5
2.1. 電子証明書の取得手順.....	5
2.2. Windows 証明書ストアへの電子証明書インポート手順	10
2.3. 電子証明書インポート完了確認.....	16
3. 電子証明書の失効手順	22
4. トラブルシューティング	27
4.1. 電子証明書取得時のエラー.....	27
4.2. 電子証明書失効時のエラー.....	30

改定履歴

改定日	版	内容	作成者
2014. 3. 05	1. 0	初版	ジャパンネット株式会社
2015. 10. 7	2. 0	証明書配信システム画面の全体改訂	ジャパンネット株式会社
2015. 12. 09	2. 1	証明書シリアル、証明書 ID、有効期限確認手順を追記	ジャパンネット株式会社
2016. 04. 06	2. 2	サポート環境に Windows10 を追加	ジャパンネット株式会社
2018. 07. 02	3. 0	合併に伴う社名変更 サポート環境から Windows Vista を削除	三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
2022. 05. 30	3. 1	MicrosoftEdge 対応	三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
2024. 11. 07	3. 2	Windows11 対応	三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
2025. 04. 01	3. 3	新会社設立に伴う社名変更	三菱電機デジタルイノベーション株式会社

1. はじめに

本手順書は、Enterprise Premium 電子証明書発行サービス（以下、当サービス）の電子証明書取得及びインポートの手順になります。

本手順書に掲載している画像は OS : Windows11、ブラウザ : Microsoft Edge のものです。お客様がご利用になる OS やブラウザにより画像が一部異なる場合がありますが、適宜読み替えていただきますよう、よろしくお願い致します。

1.1. ご利用条件

当サービスでサポートする OS 及びブラウザは以下の通りです。

サポート環境

サポート OS※	サポートブラウザ※
・ Microsoft Windows 10	・ Microsoft Edge、Google Chrome
・ Microsoft Windows 11	・ Microsoft Edge、Google Chrome

※サポート OS 及びサポートブラウザは全て日本語版に限ります。

※ブラウザは JavaScript が有効である必要があります。

※2016年1月12日より Microsoft 社のサポートブラウザが各 OS 最新のバージョンのみとなっています。弊社サポート OS およびサポートブラウザは Microsoft 社のサポート方針に準じます。

1.2. 注意事項・制限事項

・ 証明書配付システムの停止時間について

証明書配付システムは、下記の時間帯で計画停止致します。

- ・ 毎月第1・第3土曜日の18時～翌6時
- ・ 毎年2回の定期メンテナンス時間

(定期メンテナンスの日時は、お客様企業のシステム管理者の方にお問合せください。)

緊急メンテナンス等で上記時間帯以外でもシステムを停止させていただく場合がございます。システムの停止中は電子証明書の取得ができませんので、予めご了承ください。

2. 実施手順

2.1. 電子証明書の取得手順

(1) 弊社から下記内容のメールがお客様のメールアドレスに届きます。

ログイン ID、パスワードを確認し、メールに記載されている URL にアクセスします。

宛先 [REDACTED]

p.jnepp.info@mind.co.jp
【MM106346】【EPPCERT】電子証明書発行のお知らせ

この度はEnterprise Premium 電子証明書発行サービス（EPPCERT）をお申し込みいただき誠にありがとうございます。

お申し込み頂きました内容に基づき、お客様のデバイス用電子証明書の発行、およびダウンロードの準備が完了致しましたのでご連絡させていただきます。

下記 URL から、証明書配付システムへ接続等、
本 URL にアクセス

<https://dl.eppcert.jp/sv/login4>

証明書配付システムへ接続後は、メールに記載のお客様認証情報を入力し、電子証明書のダウンロードおよびインストールを実施頂けますようお願い申し上げます。

■ お客様認証情報

証明書 ID : [REDACTED]
パスワード : [REDACTED]
電子証明書の PIN : [REDACTED]

ご確認ください

■ 証明書配付システムの停止時間

証明書配布システムは、下記の時間

電子証明書インポート時に必要となるパスワードのことです。お客様から指定頂いた場合は、指定頂いたパスワードが記載されています。

- ・毎月第1・第3土曜日の18時～翌6時
- ・毎年2回の定期メンテナンス時間（定期メンテナンスの日時は、お客様企業のシステム管理者の方にお問合せください。）

※上記画面はメーラに「Outlook」を用いている場合の例です。

※上記メールはサンプルとなります。お客様によってはメール内容が異なる場合がございます。

※上記メール内の「電子証明書 PIN」はお客様によっては

「クライアント証明書 PIN(パスワード)」と記載されている場合がございます。

(2) (1)のメールに記載されている URL へアクセスもしくは、
Microsoft Edge を開き、証明書配信システム
「<https://dl.eppcert.jp/sv/login4>」にアクセスします。

(3) 「電子証明書の取得」 ボタンをクリックします。



証明書配信システムトップページ

(4) 通知された「証明書 ID」、「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

EPPCERT

Enterprise Premium電子証明書発行サービス (EPPCERT) の、電子証明書の取得・失効手続きを行います。

電子証明書の取得 - 認証

認証情報

送付されている認証情報を入力してください。

証明書ID 【必須】(半角英数字、半角記号)

パスワード 【必須】(半角英数字、半角記号)

戻る ログイン

ページトップへ

証明書 ID/パスワード認証ページ

※【注意】パスワード誤りで一定回数ログインに失敗すると、IDがロックされログインできなくなる場合があります。ロックを解除するには、お客様企業のシステム管理者の方にその旨をお伝えください。

- (5) 電子証明書の情報を確認し、追加認証項目とチャレンジフレーズを入力した後、「電子証明書の取得」ボタンをクリックします。

EPPCERT
Enterprise Premium電子証明書発行サービス（EPPCERT）の、電子証明書の取得・失効手続きを行います。

電子証明書の取得 - 取得

電子証明書の申請情報
電子証明書の申請情報は下記となります。

メールアドレス	<input type="text"/>
証明書ID	<input type="text"/>
残り取得回数	<input type="text"/>
取得期限	<input type="text"/>

追加認証情報
送付されている追加認証情報を入力してください。

コモンネーム (CN)	<input type="text" value="【必須】 例) Taro Yamada"/>
-------------	--

チャレンジフレーズ
チャレンジフレーズは、電子証明書取得時に入力し、電子証明書の失効手続き時に申請者本人を確認するために必要になります。他人に教えたり忘れてしまわないようにしてください。

チャレンジフレーズ	<input type="text" value="【必須】 (半角英数字、半角記号)"/>
入力用	<input type="text"/>
確認用	<input type="text"/>

戻る **電子証明書の取得**

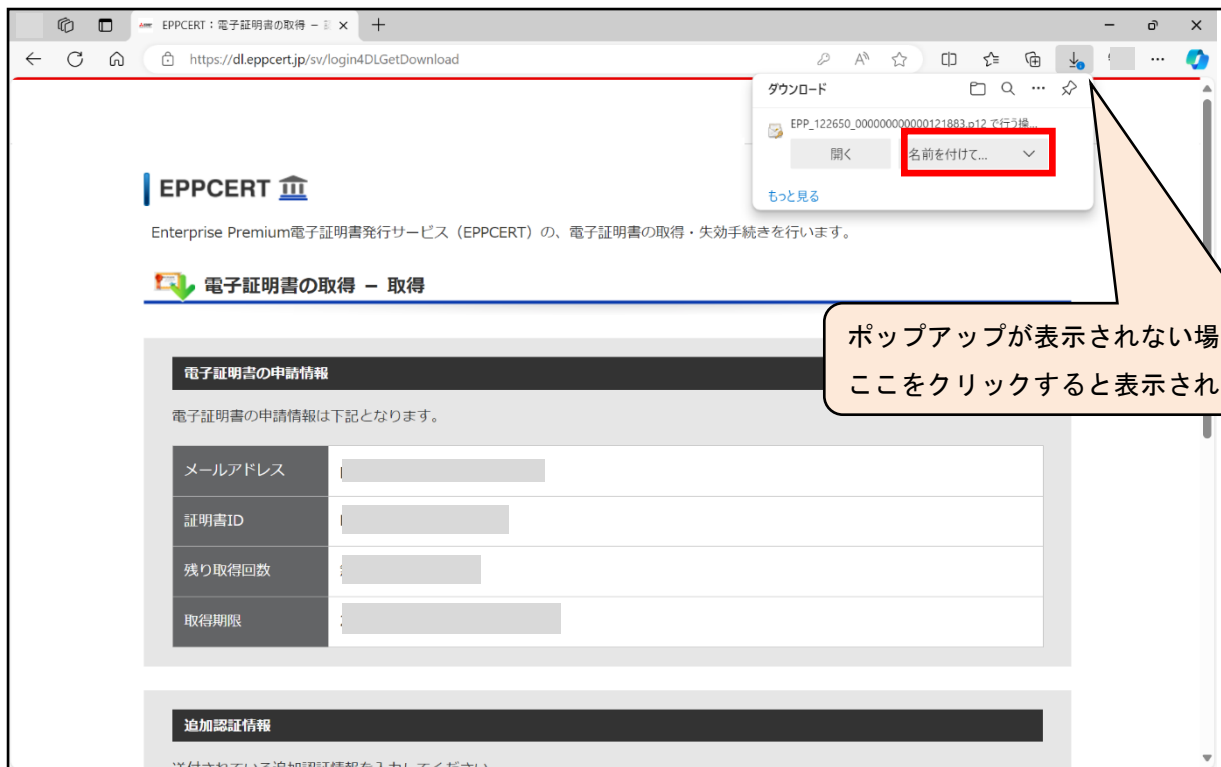
電子証明書の情報（一部）

追加認証項目はお客様の事前の指定により項目が変化します。

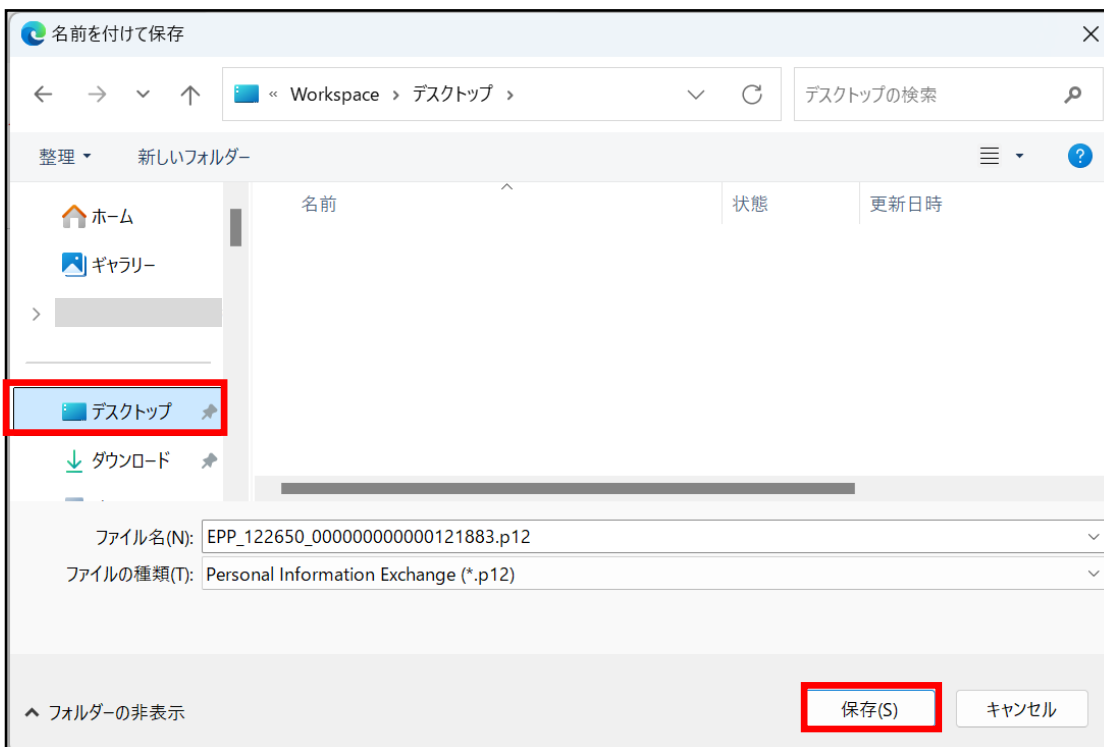
チャレンジフレーズは電子証明書失効時に利用します。
申請者本人にしかわからない文字列を入力してください。
※25文字までの半角英数字

電子証明書取得ページ

(6) 画面に保存確認のポップアップが表示されるため、「名前を付けて保存」をクリックします。



(7) 保存先を確認(画像の例ではデスクトップ)してから「保存」ボタンをクリックして、証明書ファイルを任意のフォルダに保存します。

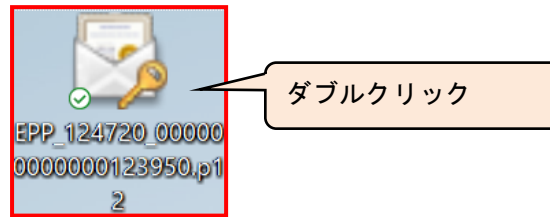


※ セキュリティの観点から証明書ファイルは速やかにインストールし、バックアップをメディアなどに保存することをお勧めします。

2.2. Windows 証明書ストアへの電子証明書インポート手順

※ Windows 証明書ストア以外へのインポート手順はお客様企業のシステム管理者の方等にご確認ください

(1) 2.1. (7)で保存した証明書ファイルをダブルクリックします。



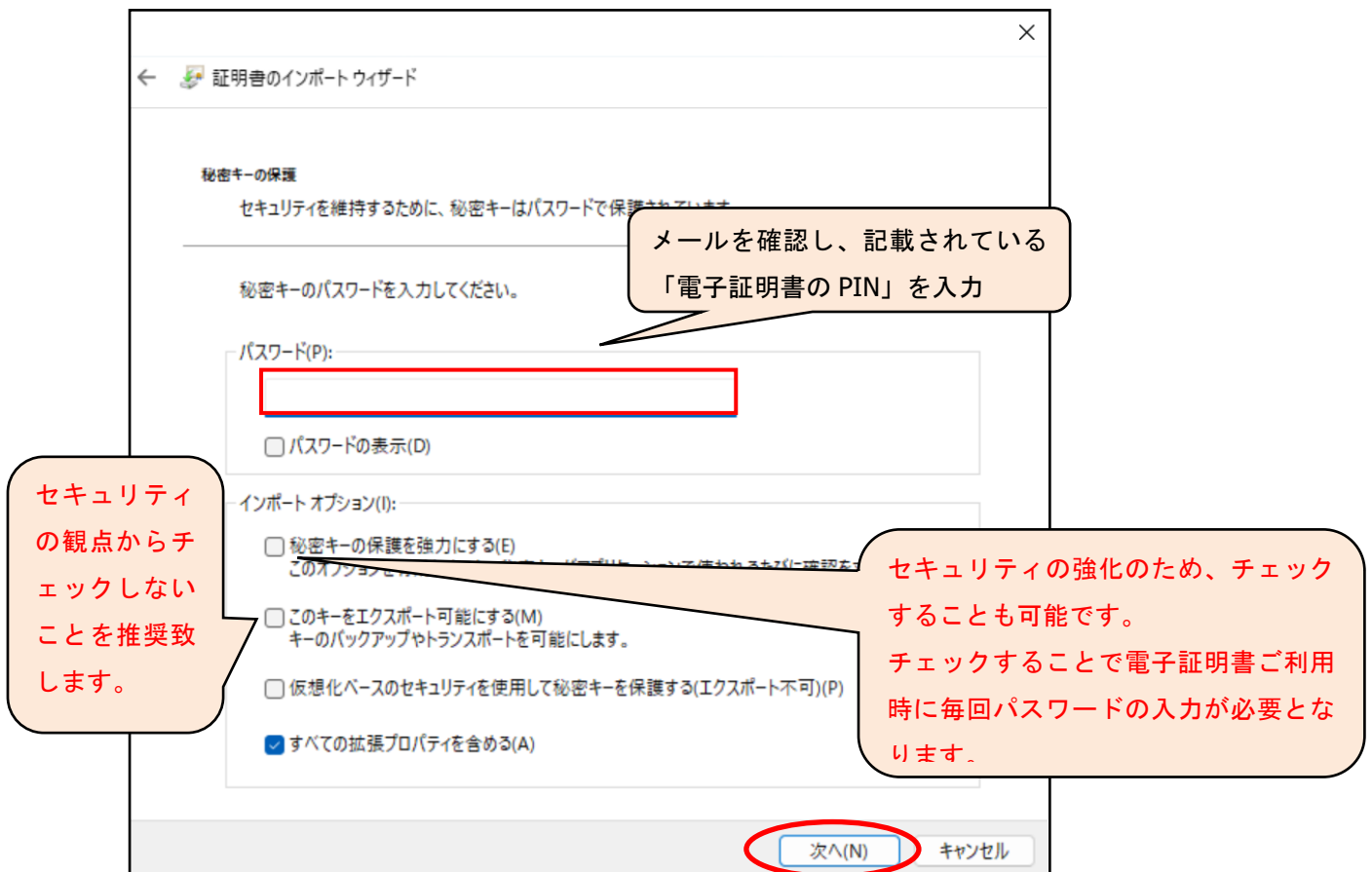
(2) 「証明書のインポート ウィザードの開始」画面が開くので、「次へ(N)>」をクリックします。



(3) 「次へ(N)>」をクリックします。

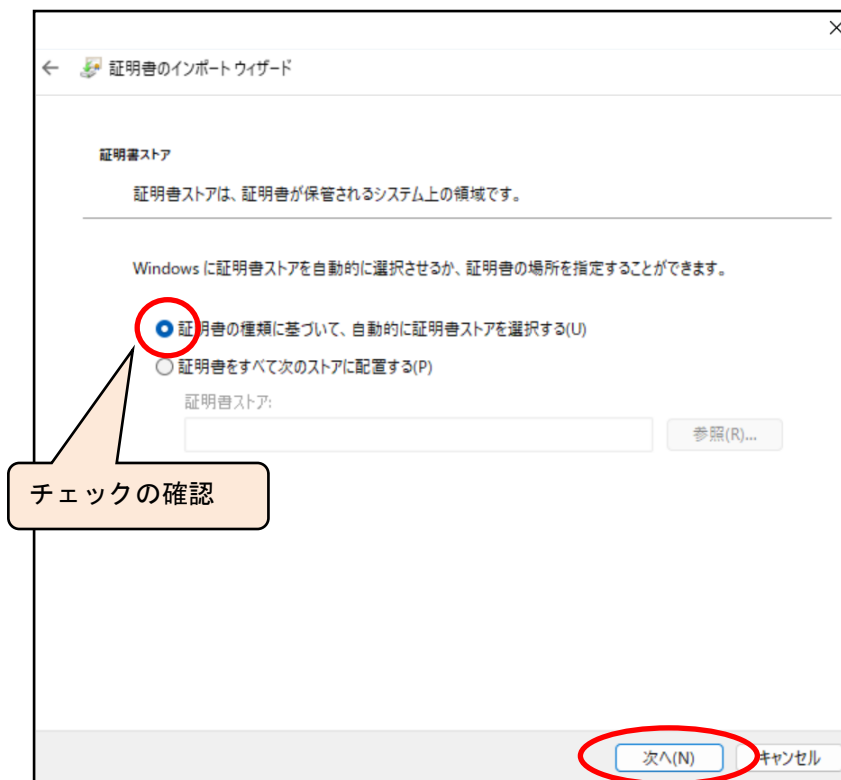


(4) 「パスワード」欄に、メールに記載されている「電子証明書の PIN」※¹を入力し、「次へ(N)>」をクリックします。

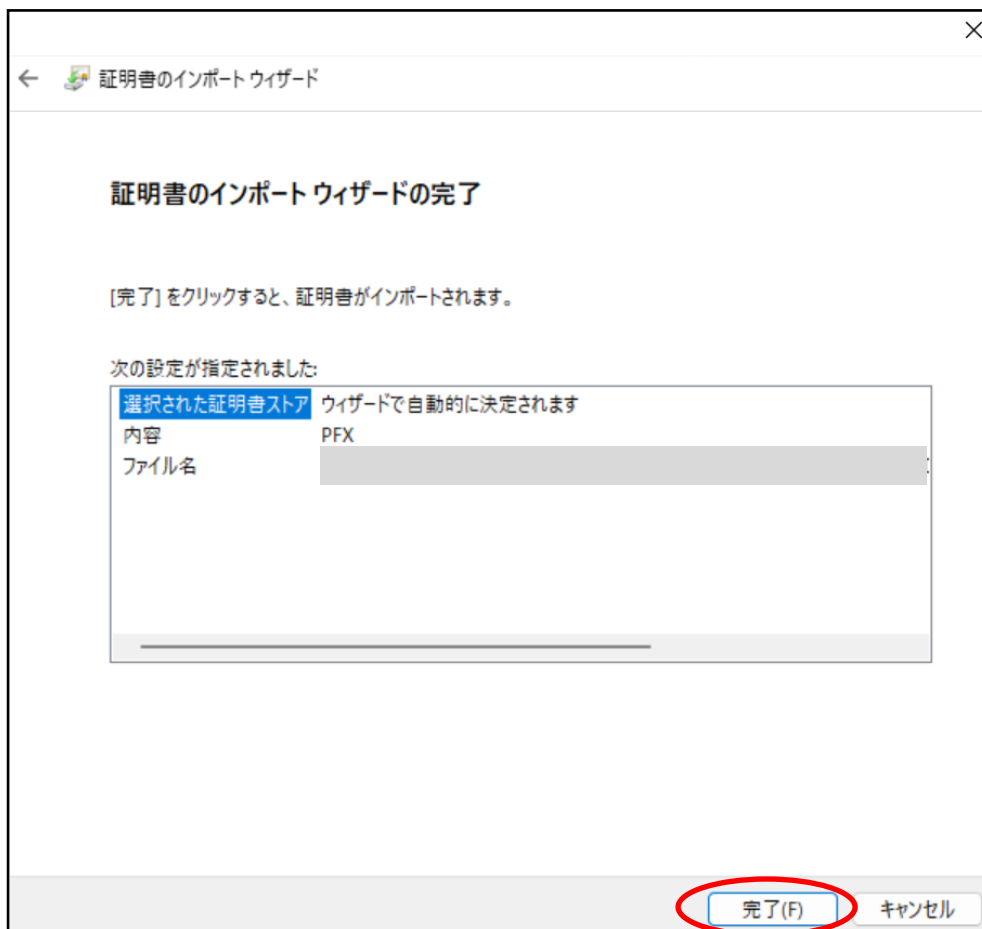


※¹ メールに記載されている「電子証明書の PIN」はお客様によっては「クライアント証明書 PIN(パスワード)」と記載されている場合があります。

- (5) 「証明書の種類に基づいて・・・選択する(U)」にチェックがついていることを確認し、「次へ(N)>」をクリックします。



- (6) 「完了」をクリックします。

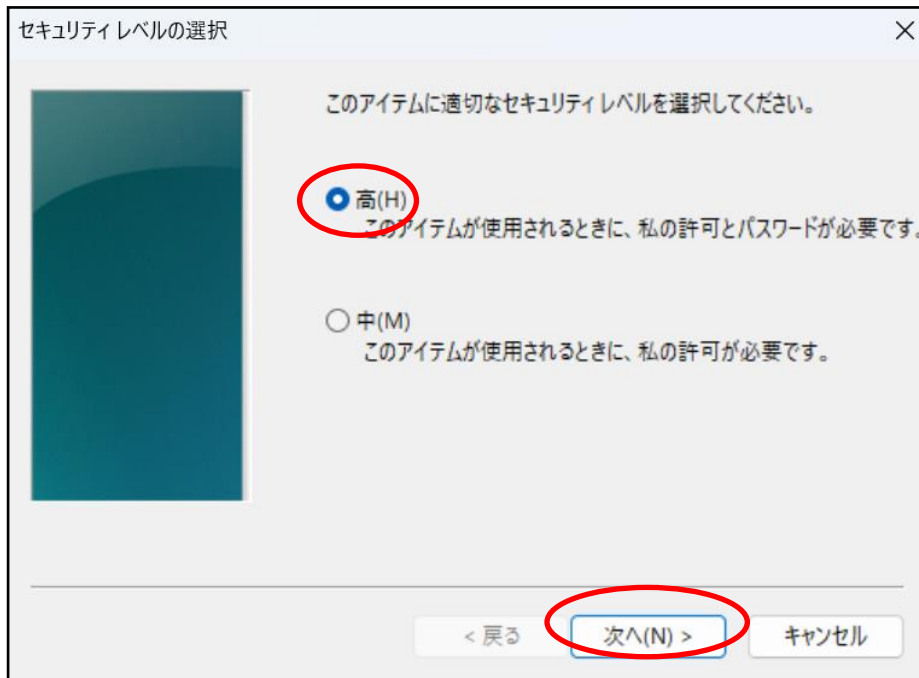


「2.2 (4) 秘密キーの保護を強力にする」をチェックした場合、下記手順が追加されます
※チェックされていない場合は（補足1）～（補足4）の手順は不要です。

（補足1）「セキュリティレベルの設定 (S)」をクリックします。



（補足2）セキュリティレベル「高 (H)」をチェックし、「次へ(N)>」をクリックします。



(補足 3) 「パスワード」欄に、パスワードを入力し、「完了(F)」をクリックします。

※下記パスワードは電子証明書ご利用時に毎回確認されるパスワードになります。お客様のパスワードポリシーに従いパスワードを設定ください。

パスワードの作成

このアイテムを保護するための、パスワードを作成します。

このアイテム用に新しいパスワードを作成する。

CryptoAPI 秘密キー のパスワード:

パスワード: |

確認入力:

< 戻る 完了(F) キャンセル

(補足 4) 「OK」をクリックします。

新しい秘密交換キーをインポートします

アプリケーションは保護されたアイテムを作成しています。

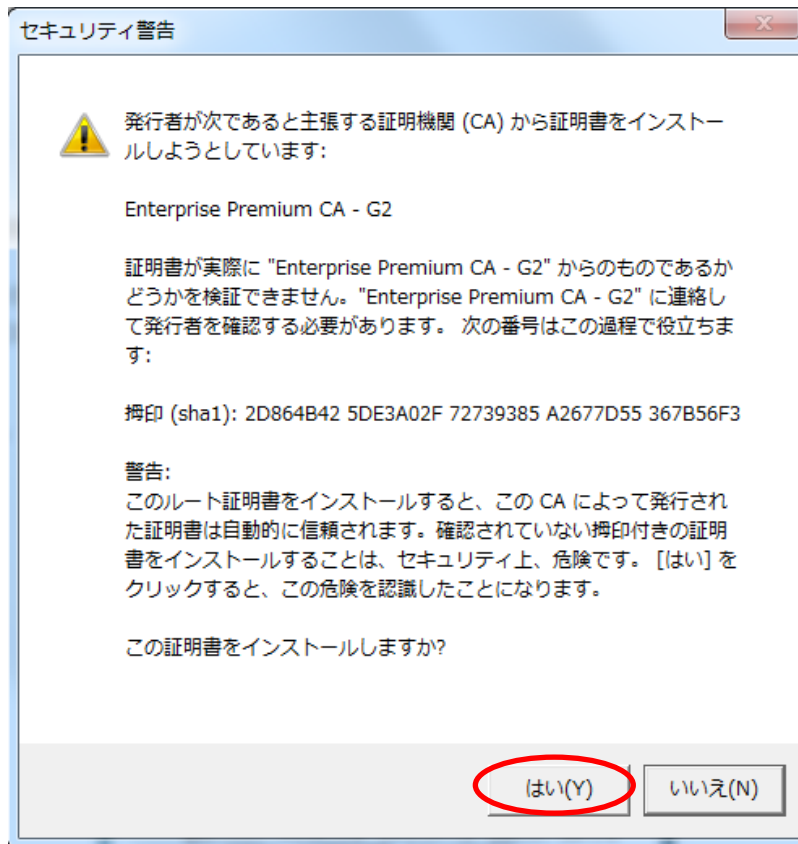
CryptoAPI 秘密キー

セキュリティレベル - 高

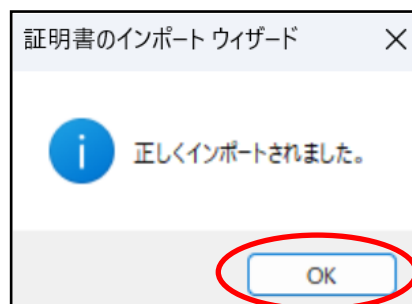
セキュリティレベルの設定(S)...

OK キャンセル 詳細(D)...

- (7) 下図のような「セキュリティ警告」画面が表示されるので、「はい(Y)」をクリックします。
- ※既に下記の証明書がインポートされている場合、下記画面は表示されませんので(7)の手順は不要です。



- (8) 「OK」をクリックします。



2.3. 電子証明書インポート完了確認

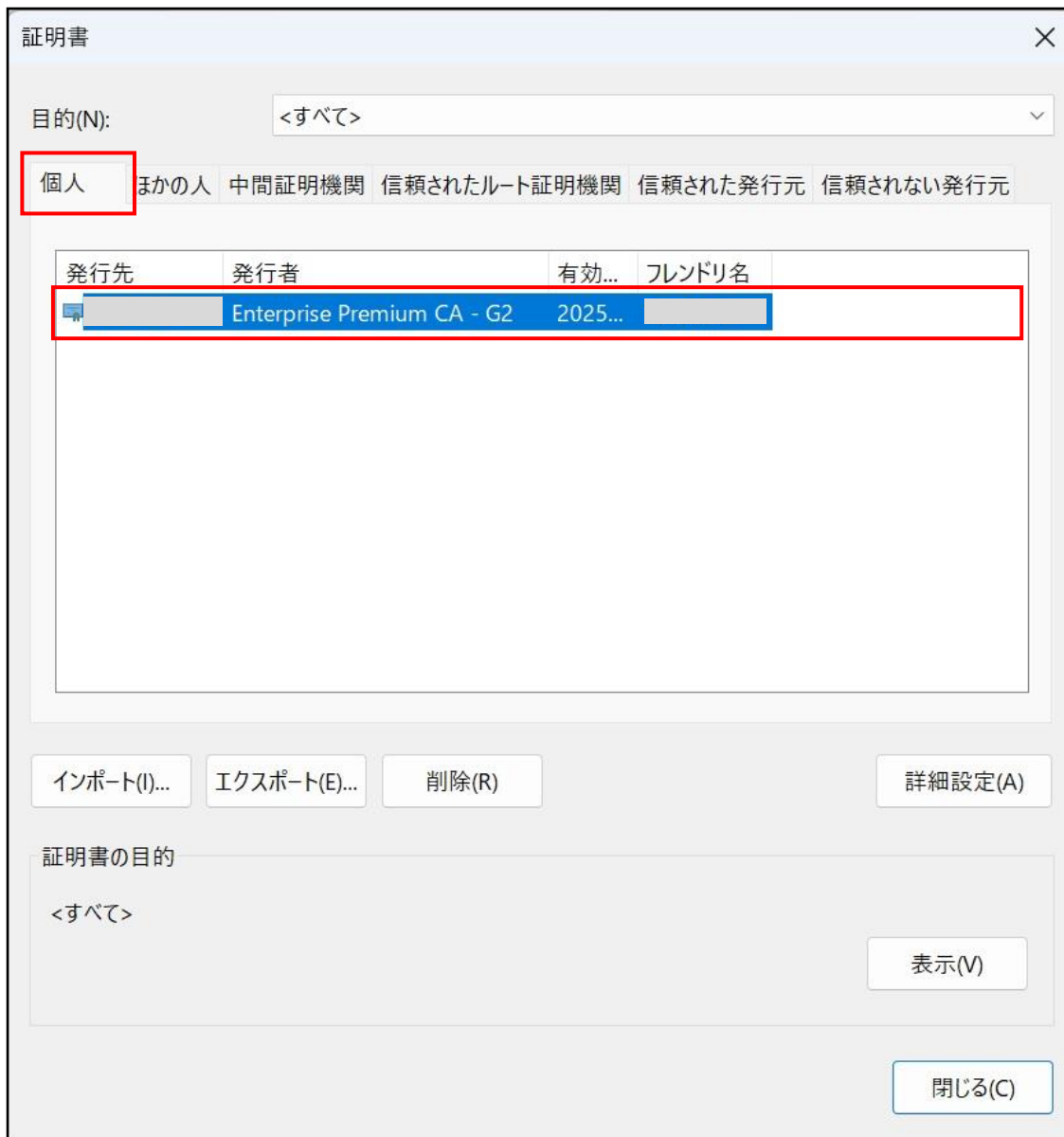
(1) Microsoft Edge を開き、画面右上の「…」>「設定」をクリックします。



(2) 「設定」画面が表示されるので、左のメニューから「プライバシー、検索、サービス」を選び、右画面のセキュリティ項目にある「証明書の管理」をクリックします。



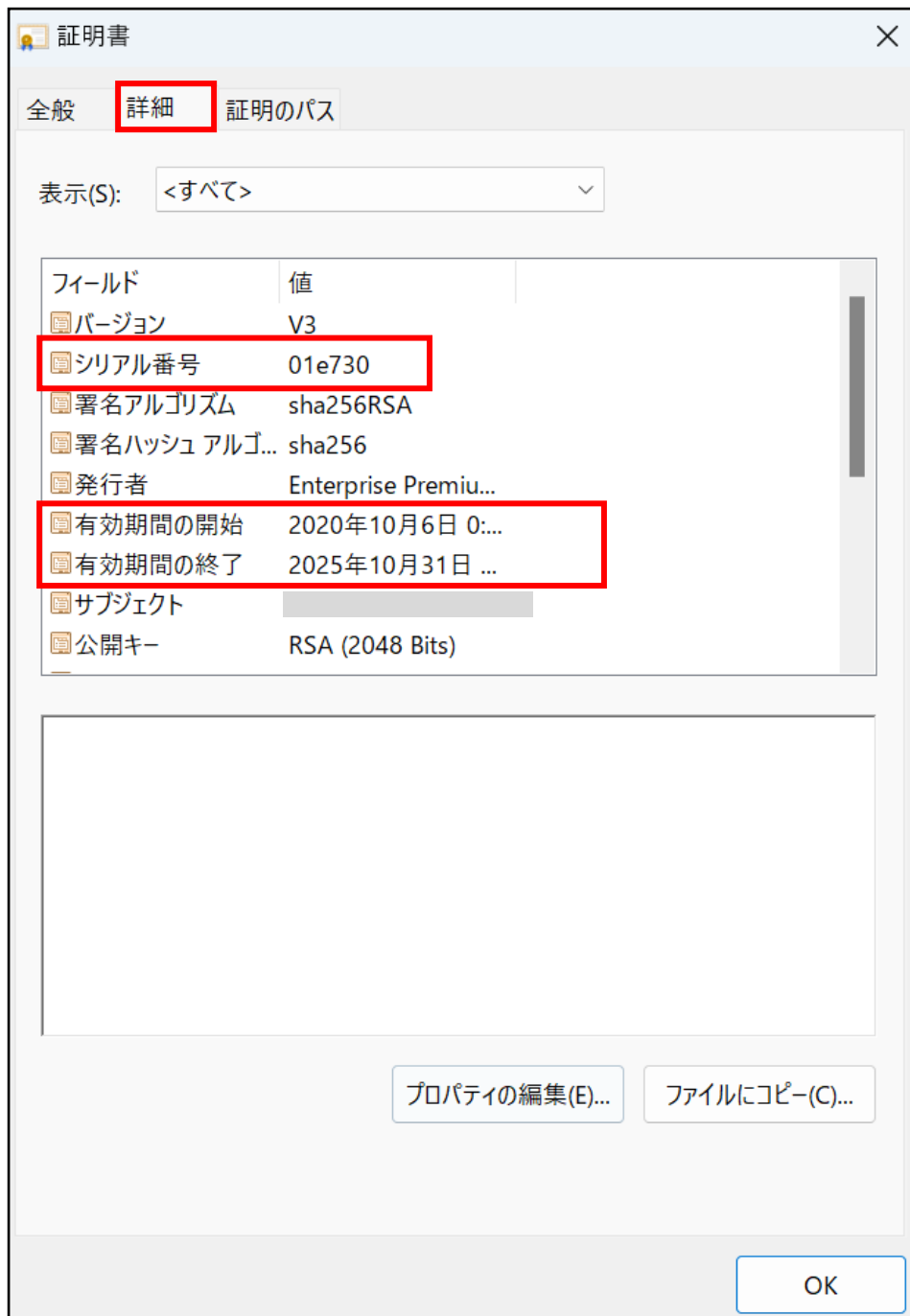
(3) 「証明書ストア」の「個人」タブが開きます。「発行先」に指定したコモンネームの証明書があることを確認します。



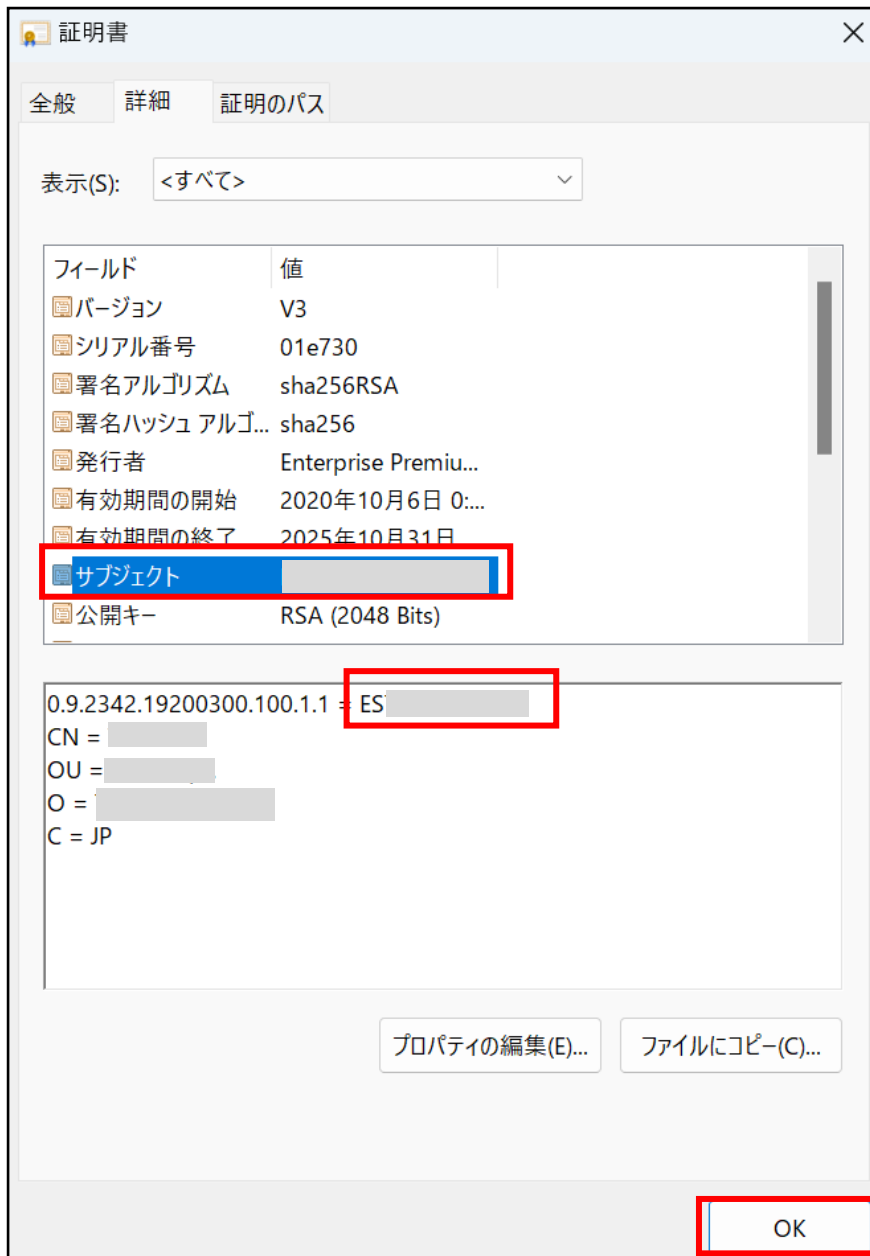
(4) 証明書をダブルクリックします。証明書が表示されます。



- (5) 証明書のシリアル番号等の詳しい情報は「詳細」タブに表示されます。
証明書のシリアル番号は「シリアル番号」の右に16進数で表示されます。
証明書の有効期間については「有効期間の開始」、「有効期間の終了」として表示されます。

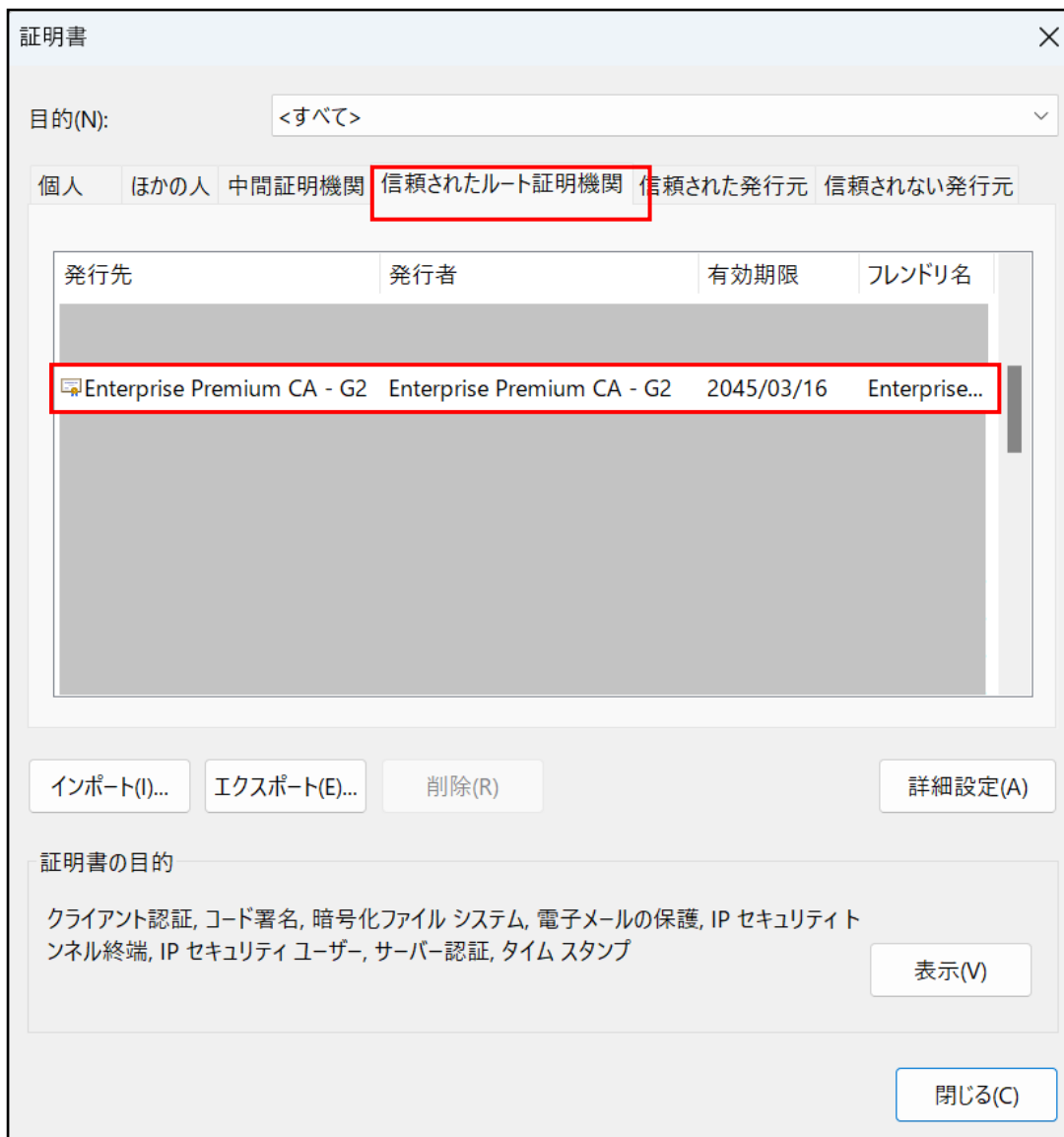


証明書 ID の確認方法は画面を下にスクロールし、サブジェクトをクリックします。下の枠を確認頂き ES から始まる英数字が証明書 ID となります。



(6) 右下の「OK」ボタンをクリックし、画面を閉じます。

(7) 「信頼されたルート証明機関」タブに「発行先」が「Enterprise Premium CA - G2」である証明書があることを確認します。



(8) 「証明書ストア」、「Microsoft Edge」を閉じます。

以上で電子証明書のインポートは完了です。

3. 電子証明書の失効手順

- (1) 2.1. (1)のメールに記載されている URL へアクセスもしくは、Microsoft Edge を開き、証明書配信システム「<https://dl.eppcert.jp/sv/login4>」にアクセスします。
- (2) 「電子証明書の失効」 ボタンをクリックします。



証明書配信システムトップページ

(3) 検索条件のいずれかに失効する証明書の情報を記入し、「検索」ボタンをクリックします。

※有効期限の切れた証明書、失効済みの証明書は検索できません。

証明書を特定可能なら、すべての項目を埋める必要はありません。

「検索」ボタンをクリック後、検索結果が多すぎる場合に、エラーとなる可能性があります。

エラーが発生した場合は、手順書の 4.2. を参照してください。

The screenshot shows the EPPCERT website interface. At the top, the EPPCERT logo and name are visible. Below the header, the page title is "電子証明書の失効 - 検索" (Expired Certificates - Search). A sub-header reads "失効したい電子証明書を検索します。下記検索条件のいずれかで検索可能です。検索は完全一致のみ有効であり、部分一致での検索は行なうことができません。" (Search for expired certificates. You can search using any of the following search conditions. Search is only valid for exact matches, and partial matches cannot be searched.)

The search form is titled "検索条件" (Search Conditions) and includes the instruction "検索条件を入力してください。" (Please enter search conditions.). The form contains three input fields: "コモンネーム (CN)", "メールアドレス", and "証明書ID". A red box highlights these three fields. Below the form are two buttons: "戻る" (Back) and "検索" (Search). A callout box with a speech bubble points to the search fields, containing the text: "失効する証明書を特定する情報を記入します。" (Enter information to specify the certificate to be expired.)

(4) 検索結果が表示されるため、「詳細」ボタンをクリックします。

※検索結果が複数表示される場合があります。

有効期限の切れた証明書、失効済みの証明書は検索結果に表示されません。

The screenshot shows the EPPCERT website interface displaying search results. The page title is "電子証明書の失効 - 検索結果" (Expired Certificates - Search Results). A sub-header reads "検索条件に一致する電子証明書が表示されています。詳細ボタンをクリックすると該当の詳細が確認できます。詳細をご確認後、失効することができます。" (Certificates matching the search conditions are displayed. You can check the details by clicking the detail button. After checking the details, you can expire them.)

The search results are displayed in a table format. The table has the following columns: "コモンネーム (CN)", "メールアドレス", "証明書ID", and "有効期間". The "有効期間" (Validity Period) is shown as "2020年9月9日 (JST) から2025年9月30日 (JST)". A green "詳細" (Details) button is highlighted with a red box. Below the table are two buttons: "戻る" (Back) and "ページトップへ" (Back to Top).

- (5) 証明書の情報を確認し、画面を下へスクロールします。
 失効を行う証明書と異なる場合は、手順 3.(6)を参照します。
 詳細情報が目的の証明書のものである場合は、手順 3.(7)を参照します。

EPPCERT
 Enterprise Premium電子証明書発行サービス（EPPCERT）の、電子証明書の取得・失効手続きを行います。

電子証明書の失効 - 詳細情報

以下の電子証明書情報を確認してください。

電子証明書情報	
コモンネーム (CN)	[Redacted]
メールアドレス	[Redacted]
証明書ID	[Redacted]
Subject	[Redacted]
有効期間	2020年9月10日0時0分0 秒 (JST) ~ 2025年9月30日23時59分59 秒 (JST)
シリアル番号	[Redacted]

失効する証明書であることを確認します。

確認後、画面を下へスクロールします。

- (6) 左下の「戻る」ボタンから手順 3.(4)へ戻り、別の証明書の詳細を確認します。
 ※検索結果すべての証明書の詳細を確認し、目的の証明書が見つからない場合は、手順 3.(3)で入力した情報が誤っている可能性があります。
 失効する証明書の情報を確認し、手順 3.(3)まで戻り、再検索をお願いします。

チャレンジフレーズを入力し、電子証明書失効理由を選択してください。

チャレンジフレーズの入力と失効理由の選択

チャレンジフレーズは、電子証明書取得時に、お客様自身にて指定頂いたものになります。

チャレンジフレーズ

失効の理由

利用規約

三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社が運営する「Enterprise Premium - G2認証局」ならびに「Enterprise Premium - G3認証局」（以下、「本認証局」という）のCPS（Certification Practice Statement）において、下記の通り規程しております。本規程に同意頂けない場合は本認証局が提供する「Enterprise Premium電子証明書発行サービス」（以下、「本サービス」という）をご利用いただくことはできません。

『Enterprise Premium - G2 (SHA256) 認証局 運用規程 (CPS) 』
 www.eppcert.jp/repository/epg2ca_cps.pdf

上記規約に同意します。

※失効手続きを行うと電子証明書の利用ができなくなります。
 なお、この失効手続き完了後は、本手続きの取り消しはできません。

戻る

証明書が異なる場合、手順 3.(4)へ戻る。

- (7) 証明書を取得する際に指定いただいたチャレンジフレーズを入力し、失効の理由をプルダウンから選択します。
- 次に、利用規約をお読みいただき、「上記規約に同意します。」にチェックを入れ、「電子証明書の失効」ボタンをクリックします。

※利用規約に同意いただけない場合、電子証明書の失効はできません。

エラーが発生した場合は手順書の 4.2.を参照してください。

電子証明書の失効 - 失効情報入力

チャレンジフレーズを入力し、電子証明書失効理由を選択してください。

チャレンジフレーズの入力と失効理由の選択

チャレンジフレーズは、電子証明書取得時に、お客様自身にて指定頂いたものになります。

チャレンジフレーズ: [.....]

失効の理由: [証明書格納媒体を紛失した]

利用規約

本CPSIに規定された責任を果たさなかったことに起因して、本認証局が本サービスの加入者に対して損害を与えた場合、証明書発行手数料を上限として、損害を賠償する。ただし、本認証局側の責に帰さない事由から発生した損害、逸失利益、間接損害、又は予見の有無を問わず特別損害については、いかなる場合でも一切の責任を負わない。

また、加入者は認証局が発行する加入者証明書を申請した時点で、検証者は信頼した時点で、認証局及び関連する組織等に対する損害賠償責任が発生する。

以上

上記規約に同意します。

※失効手続きを行うと電子証明書の利用ができなくなります。
なお、この失効手続き完了後は、本手続きの取り消しはできません。

戻る

電子証明書の失効

- (8) 失効手続きについてダイアログが表示されるため、ご確認いただき「OK」ボタンをクリックします。

dltest.trustminder.jp の内容

失効手続きを行うと電子証明書の利用ができなくなりますがよろしいですか？

OK

キャンセル

(9) 失効完了の画面が表示されます。

続けて別の証明書の取得・失効を行う場合、「メインメニューに戻る」ボタンをクリックします。
終了する場合、「Microsoft Edge」を閉じます。






以上で電子証明書の失効は完了です。

4. トラブルシューティング

エラー画面が表示された場合の原因と解決方法について記載します。

4.1. 電子証明書取得時のエラー


【証明書配付システムにログイン時のエラー】

エラーメッセージ	
・ログインに失敗しました。	
	原因 1 証明書 ID、パスワードが誤っている。
解決方法 1 メールに記載されている「証明書 ID」及び「パスワード」を再度確認し、情報を入力してください。	
原因 2	
JavaScript が無効になっている。	
解決方法 2	
<ol style="list-style-type: none">1. Microsoft Edge の「設定」から「Cookie とサイトのアクセス許可」をクリックしてください。2. 「すべてのアクセス許可」の「JavaScript」を選択して、「許可」します。3. Microsoft Edge を再起動後に再度証明書配付システムにアクセスし、「証明書 ID」及び「パスワード」を入力してください。	
	

【期限切れの証明書を取得する際のエラー】

エラーメッセージ	
<p>・ダウンロード期限(YYYY年MM月DD日)が過ぎています。</p>	
	原因 1
	電子証明書の有効期限が過ぎている。
	解決方法 1
	再度電子証明書の発行が必要です。 ID 通知メール下部の問い合わせ先にご連絡ください。
原因 2	
前回ダウンロード実施日から再ダウンロード期間が経過した。	
解決方法 2	
お客様企業のシステム管理者の方にお問合せください。	

【パスワードがロックされている場合のエラー】


エラーメッセージ	
<p>・ログイン ID がロックされています。システム管理者に連絡してください。</p>	
	原因 1
	パスワードを連続で規定の回数まで間違える。
	解決方法 1
	ID 通知メール下部の問い合わせ先にご連絡ください。

【追加認証情報でログインに失敗した場合のエラー】


エラーメッセージ	
<p>・ログインに失敗しました。</p>	
	原因 1
	入力情報が証明書の情報と一致していない。
	解決方法 1
	証明書発行時に記載して頂いたコモンネーム (CN) を確認してください。
原因 2	
必要な追加認証情報がコモンネーム (CN) ではなく、入力情報が証明書の情報と一致していない。	
解決方法 2	
お客様企業のシステム管理者の方等にお問合せください。	

4.2. 電子証明書失効時のエラー

【検索条件が全て空の場合のエラー】

エラーメッセージ	
<p>・全ての項目が入力されていません。</p>	
	原因 1
	検索条件が一つも入力されていない。
	解決方法 1
	検索条件を入力する。

【検索時に検索にヒットしない場合のエラー】

エラーメッセージ	
<p>・検索条件に該当する電子証明書は0件です。再度、検索条件を確認ください</p>	
	原因 1
	入力した検索条件が、証明書の情報と完全一致ではない。または、一致する情報を持つ電子証明書が存在しない。
	解決方法 1
	失効する証明書の情報を確認し、完全一致するように入力する。


【検索ヒット数が多すぎる場合のエラー】

エラーメッセージ	
<p>・ 検索条件に該当する電子証明書が3件を超えました。検索条件を絞り込みください。</p>	
	原因 1
	<p>入力した検索条件では、検索結果が多すぎる。</p>
	解決方法 1
<p>検索結果を3件以下になるように記入する検索条件を増やす。</p>	

【チャレンジフレーズ入力ミスの場合のエラー】

エラーメッセージ	
<p>・ 入力されたチャレンジフレーズが間違っていないか確認してください。</p>	
	原因 1
	<p>証明書のダウンロードの際に入力したチャレンジフレーズと失効情報として入力したチャレンジフレーズが違う。</p>
	解決方法 1
<p>証明書のダウンロードの際に入力したチャレンジフレーズを入力する。</p>	

【失効情報を入力していない場合のエラー】

エラーメッセージ	
・このフィールドは必須です。	
	原因 1
	チャレンジフレーズを入力していない。または、失効理由を選択していない。
	解決方法 1
	チャレンジフレーズの記入に加え、失効理由の選択を実施する。